

平成26年5月21日開催 小平市地域公共交通会議

1 日 時

平成26年5月21日（水）15時30分から17時まで

2 場 所

小平市役所 大会議室

3 出席者

小平市地域公共交通会議委員 11人
事務局（都市開発部 公共交通担当） 3人
（傍聴者2人）

4 会議次第

- 1 開会
- 2 小平市コミュニティバス、コミュニティタクシーの利用状況について
- 3 小平市コミュニティタクシー（小平南東部地域ルート）実証実験運行について
- 4 「バスとタクシーのひろば in 小平 2014」の開催について
- 5 その他
- 6 閉会

5 配布資料

- ・小平市コミュニティバス、コミュニティタクシー乗車実績表
- ・小平南東部地域コミュニティタクシー実証実験運行ルート図、時刻表
- ・「バスとタクシーのひろば in 小平 2014」の開催について（報告）

6 会議内容

都市開発部長の挨拶、出席委員及び資料の確認、傍聴者への対応

会長

それでは、これより平成26年度第1回小平市地域公共交通会議を開催いたします。

後ほど、詳細については事務局より報告があるかと思いますが、5月17日（土）開催のバスとタクシーのひろば in 小平につきまして、皆様のご協力をいただき盛況のうちに開催することができました。また、事故一つなく無事に終えることができました。ありがとうございました。後ほど私の方からもコメントさせていただきますが、このイベントはある意味画期的であったと考えております。皆様にも後ほどコメントをいただければと思います。

それでは、本日の次第に沿って進めてまいります。

次第の2の報告事項「小平市コミュニティバス、コミュニティタクシーの利用状況について」事務局より説明をお願いします。

事務局

はい。それでは、小平市コミュニティバス、コミュニティタクシーの利用状況について、ご説明申し上げます。

資料1をご覧ください。小平市コミュニティバス、にじバス乗車実績表とあります平成25年度の表をご覧ください。

平成25年度のにじバスの乗車実績でございますが、平成25年度は24万244人、1日平均663.7人でございました。運行日数362日間とあるのは、2月の大雪により3日間全便運休となったためです。前年度比で申し上げますと292人の増、0.12%の増でございました。

続きまして、小平市コミュニティタクシー、ぶるべー号乗車実績表とあります平成25年度

と平成 24 年度が掲載されている表をご覧ください。

コミュニティタクシーぶるべー号は現在、大沼ルートと栄町ルートを試行運行しております。大沼ルートの平成 25 年度の乗車実績でございますが、年間 1 万 6 千 15 人、1 日平均乗車人数は 65.6 人でした。前年度比で申し上げますと 955 人の増、6.3%の増でございました。コミュニティタクシーぶるべー号は、1 日平均乗車人数 70 人を目標に、地域協働の組織であるコミュニティタクシーを考える会を中心に組み立てておりますが、目標値まであと一歩という状況です。

次に、栄町ルートの平成 25 年度の乗車実績でございますが、年間 2 万 2 千 650 人、1 日平均乗車人数は 92.8 人でございました。前年度比で申し上げますと 215 人の減、0.9%の減でございました。

コミュニティタクシー大沼ルートは、本年 2 月 13 日に開催いたしました小平市地域公共交通会議でも協議を整えていただきましたが、コミュニティタクシーを考える会にて利便性の向上を検討し、これまで 30 分ルートと 40 分ルートの組み合わせで運行をしていましたが、停留所の利用状況等から 40 分ルートの停留所を廃止し、全便 30 分ルートへ 5 月 7 日より変更いたしました。また、タクシー事業者の営業所からの出庫便、帰庫便を加えるなどシステム変更をいたしました。変更後の 5 月 7 日から 20 日までの乗車実績でございますが、1 日平均 69.8 名とご利用が伸びております。

次に、小平市コミュニティタクシー実証実験運行乗車実績表をご覧ください。

平成 25 年 11 月 25 日から平成 26 年 3 月末日まで鈴木町ルート第 1 期実証実験運行、平成 26 年 4 月 1 日から 7 月末日まで鈴木町ルート第 2 期実証実験運行、8 月 1 日から 11 月末日まで花小金井南町ルート実証実験運行と 3 つのルートで 4 カ月間ずつ 1 年間の実証実験運行を行うこととしております。

鈴木町ルート第 1 期の実証実験運行の乗車実績でございますが、4 カ月間で計 2 千 662 人、1 日平均乗車人数は 32.5 人となりました。目標としております 1 日平均乗車人数 70 人には及んでおりません

本年 4 月 1 日より、鈴木町ルート第 2 期実証実験運行を開始いたしました。4 月の乗車実績は 974 名、1 日平均乗車人数は 46.4 人となっております。

鈴木町ルート第 1 期の 3 月の 1 日平均乗車人数が 37.3 人であったので、第 2 期では大幅に乗車が伸びております。

コミュニティタクシーを考える会を中心に、さらに積極的に PR 活動を行ってまいります。

続きまして、コミュニティタクシー大沼ルート運行実績年報をご覧ください。こちらは、運行便数別、停留所別の乗降者内訳です。乗車で利用の多い停留所は順に、停留所番号 15 番昭和病院 28.5%、停留所番号 1 番小平駅入口 24.5%、停留所番号 22 番大沼公民館・図書館 10.3%となっております。また、降車で利用の多い停留所は順に、停留所番号 1 番小平駅入口 42.3%、停留所番号 15 番昭和病院 19.1%、停留所番号 2 番多摩済生病院 5.4%となっております。大沼ルートの運賃支払いの内訳ですが、現金でのお支払いが 60.3%、回数乗車券でのお支払いが 39.7%、1 日乗車券でのお支払いが 0.1%です。

次に、コミュニティタクシー栄町ルート運行実績年報をご覧ください。乗車で利用の多い停留所は順に、停留所番号 1 番小川駅入口 44.5%、停留所番号 18 番栄町三丁目 9.2%、停留所番号 20 番小川西町地域センター西 5.4%となっております。降車で利用の多い停留所は順に、停留所番号 1 番小川駅入口 39.7%、停留所番号 5 番元中宿通り 9.8%、9 番十三小通り 9.2%となっております。栄町ルートの運賃支払いの内訳ですが、現金でのお支払いが 45.8%、回数乗車券でのお支払いが 53.7%、1 日乗車券でのお支払いが 0.5%で、大沼ルートと比較して回数乗車券でのお支払いが多くなっております。

続きまして、コミュニティタクシー鈴木町ルート第 1 期の実証実験運行実績年報をご覧ください。乗車で利用の多い停留所は停留所番号 1 番花小金井駅南口 41.6%、停留所番号 16 番三中西 17.4%、停留所番号 15 番鈴天通り商店街 11.7%となっております。降車で利用の多い停留所は停留所番号 1 番花小金井駅南口 52.4%、停留所番号 6 番三中西 17.1%、停留所番号 14 番鈴木街道北 4.4%となっております。

鈴木町ルート第1期全体の分析として、花小金井駅中心のご利用でかつ、花小金井駅から乗るよりは花小金井駅へ向かう方が多い、という状況です。

続きまして、コミュニティタクシー鈴木町ルート第2期の実証実験運行実績年報をご覧ください。4月の状況ですが、乗車で利用の多い停留所は停留所番号1番花小金井駅南口43.7%、停留所番号15番三中西13.7%、停留所番号12番天神町第6公園西8.9%となっております。降車で利用の多い停留所は停留所番号1番花小金井駅南口52.0%、停留所番号6番三中西17.1%、停留所番号13番天神グランド前5.3%となっております。

また、鈴木町ルート第2期では、鈴木町ルート第1期の乗車状況を分析し、運行ダイヤを30分繰り下げたほか、タクシー事業者の営業所からの出庫便、帰庫便を運行するように変更いたしました。報告事項については以上でございます。

会長

ただ今の報告について、何かご意見、ご質問はございますか。

私から1点、運行開始からの累計の乗車人数はわかりますか。大沼ルートでしたらそろそろ10万人になるのではないかと思います。その時点で記念に何か行ったらどうか、ということでお聞きします。

事務局

この場には、累計の乗車人数の方は持ち合わせておりませんが、コミュニティタクシーぶるべー号を広くPRするためのいい機会となりますので、コミュニティタクシーを考える会を中心に検討してまいります。ご提案ありがとうございます。

会長

それでは、次第の3の協議事項「小平市コミュニティタクシー小平南東部地域ルートの実証実験運行について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

事務局

はい。小平市コミュニティタクシー小平南東部地域ルートの実証実験運行について、説明申し上げます。資料2をご覧ください。

コミュニティタクシー花小金井南町ルート実証実験運行の運行時間につきましては、平成25年9月19日開催の小平市地域公共交通会議にて、花小金井駅南口9時40分発から17時00分発、20分間隔23便で協議を調べていただきましたが、その後同地域を運行いたします路線バスが午前中と夕方に増便となりましたことから、路線バスを補完する位置付けでありますコミュニティタクシーの運行時間を、花小金井駅南口10時00分発から15時00分発、20分間隔16便に変更をお願いしたいと思います。なお、ルートの変更はございません。

会長

ただ今の協議事項につきまして、ご意見、ご質問はございますか。

私から1点、路線バスの増便されたダイヤとの関係はどのような状況ですか。

事務局

あくまでも路線バスを補完するというコミュニティタクシーの位置付けから実質的に路線バスとは重複しないダイヤとなっております。路線バスは、午前は花小金井駅北口9時22分発まで運行され、午後は花小金井駅北口15時30分発から運行されることに変更になりました。コミュニティタクシーの実証実験運行は、その時間帯を避けた運行としたためダイヤ上の重複はございません。また、花小金井駅へ向う便につきましても、路線バスの運行の前後を1時間程度空けた形でコミュニティタクシーを運行するダイヤとしております。

会長

ほかに質問、ご意見ございますか。

委員

ルート上は民間路線バスと重複区間はありますか。

委員

路線としては、重複区間がございます。資料 2 の別紙①のルート図で説明いたしますと、花小金井駅南口から鈴木街道を運行する部分が重複しております。

会長

花小金井南町ルート of の時刻表につきましては、路線バスの運行状況の変更に伴ったための時刻表の変更でございます。

コミュニティタクシーは路線バスを補完するということによる変更ということですので、よろしいでしょうか。

委員

異議なし。

会長

それでは、協議が調ったものとして進めさせていただきます。ありがとうございます。

事務局

はい。ありがとうございます。

会長

はい、続きまして次第の 4 のバスとタクシーのひろば in 小平 2014 についてご報告お願いいたします。

事務局

それでは、バスとタクシーのひろば in 小平 2014 の開催についてご説明申し上げます。資料 3 をご覧ください。

バスとタクシーのひろばにつきましては、平成 26 年 2 月 13 日の小平市地域公共交通会議にて協議を調べていただき、先週の 5 月 17 日（土）に小川駅から東へ徒歩 3 分のところがございますブリヂストン TODAY 駐車場にて午前 11 時から午後 3 時まで開催いたしました。主催は、小平市地域公共交通会議、コミュニティタクシーを考える会、にじバス協議会及び小平市で、開催の目的は、バスやタクシーなどの公共交通を PR して、利用促進を図ることで、少子高齢化社会において誰もが移動しやすいまちを目指すこととでございます。開催内容は、車両等の展示、各交通事業者によるグッズ等販売、バスの乗り方教室、PASMO・Suica タッチイベント及び市民と市長のタウンミーティング、テーマは「地域でつくり、支える生活交通について」でございました。当日はお天気にも恵まれまして、約 2,500 人ものお客様がご来場されました。また、PASMO・Suica タッチイベントには 293 名の方にご参加いただきました。

当日の状況については資料 3 に写真がございますのでご参照ください。

また、来場者アンケートの集計結果については資料 3 にございますのでご参照ください。約 9 割の方に満足していただけたという結果となっております。

報告につきましては以上でございます。

会長

ただいまの内容について、ご意見、ご感想などお願いいたします。

委員

本当にびっくりするほど多くの子も連れの方で賑わっていて、通常バス会社主催のイベントは一社のみで開催し、主にバスがお好きな方が来られますが、今回、小平市さんのお声がけのおかげで、これだけの多くの交通事業者さんが参加されたので未だかつてない素晴らしいイベントになったと思います。また、お子さんが中心に楽しまれていたということで本当にいい雰囲気の中で行われたいいイベントだったと思います。

委員

今回、私は参加できませんでしたが、参加したスタッフから聞いたところでは、弊社でも毎年イベントを実施しておりますが、バスがアイドルという皆様は多く見えますが、今回のイベントは家族連れが多く、バス会社としてもむしろ新たな発見ができたのではないかと思います。参加させていただき大変有意義であったとスタッフから聞いております。今後も引き続き開催していただければと思います。

委員

弊社も毎年夏に単独で小学生を対象に各営業所でイベントを実施しております。バスの乗り方教室のほか、夏の熱い中での洗車体験などが大変人気です。今回、洗車体験ができなかったことは残念ですが、事業者同士がイベントで一同に会するという事はないので、来年もぜひ開催していただければと思います。

委員

今回、小平市さんのイベントに参加させていただきましたが、弊社でも毎年10月にイベントを実施しております。メインが小さなお子さんで、親御さんに連れてきていただくというようなイベントは地域へPRできるのでいいと思います。今後も機会があれば小平市さんにお声かけいただければと思います。

委員

弊社では、コミュニティタクシー2台を展示させていただきましたが、皆様のおっしゃるとおりでして、開催前まではどのくらいの方がいらっしゃるのか心配でしたが、小さなお子さまがたくさんいらっしゃってバスやタクシーの運転席に座ってハンドルを回したり、ハザードランプを点けたりと小さなお子様は非常に興味があるんだと思いました。バス事業者様はイベント等をされておりますが、タクシー事業者は独立しており、タクシーを展示し自社をPRするようなイベントはまずないので、タクシー事業者でも集まって話もしましたが、タクシー事業者だけでも集まってタクシーを広めていくためにもこのようなイベントができたらいね、という話が出るほどいいイベントだったと思います。ぜひ、第2回も開催してほしいと思います。最後に余談ではございますが、弊社はPASMO・Suicaのタッチイベント

の担当させていただきましたが、景品によって大変喜ばれるケースと落胆されるケースとあり、もっと景品が充実できればいいなと思いました。

委員

市がこのようなイベントをされるのは、市民の方が気軽に行けるのでいいと思います。また、お子さまは将来のバスのお客さまですので、続けてほしいと思います。

委員

市民と市長のタウンミーティングとは具体的にどのようなやりとりでしたか。

事務局

市民と市長のタウンミーティングにつきましては、年数回開催しておりますが、今回市長からこのイベントで開催したいという意向がございました。個別の問題を解決する場ではなく、市長の大きな考え方をお伝えするという趣旨で開催いたしました。12名程度のご参加がございました。そこでの主な意見といたしましては、コミュニティタクシー栄町ルートが定員を超えてしまうことがあるので対応を考えてほしいという意見がございましたが、市長からは、そのような課題こそコミュニティタクシーを考える会で議論してほしい、ということでした。また、サーベラスの問題についてのご質問があったり、東村山市民の方からコミュニティタクシーとは何かというご質問がありましたが、その場に参加されていたコミュニティタクシーを考える会のメンバーの方がお答えになっていました。そのほか、子どもに小さい頃から公共交通に慣れ親しんでいただくためにモビリティマネジメントを学校の授業等で取り組んでいただければ、過度に自動車に頼らない大人になるのではないかと、というような意見がございました。

委員

公共交通を小平市が行うことには限界があると思いますが市長の考え方は。

事務局

市は常日頃から、地域の課題は地域で解決する、民業圧迫にならないことを前提にコミュニティタクシーの展開を図っており、市が地域の課題を何でも解決するのではなく、地域の方が利用しやすい交通を作っていくんだという考え方で、市へバスを走らせて下さい、という要望で運行しても乗車が伸びない場合もあるので、要望型ではなく地域の方が主体で交通を作っていく、市はそれを支援していく、という形をとっております。

委員

このようなイベントでは、目的としてお客さまの確保のほか、将来の人材確保、つまり運転士の確保ということもあろうと思います。若い方が運転士になりたがらないという現状があるため、お子さまが公共交通のイベントに参加して、将来運転士になりたいということになれば素晴らしいと思います。そういう意味では大変いいイベントだと思います。

また、小平市さんのコミュニティタクシーの取り組みについては、興味を持たれている自治体も非常に多いという現状もございますので、今後、紹介してまいりたいと考えております。

委員

皆様のお話をお聞きしましたが、大変いいイベントだと思いますので来年以降も続けてください。また、場所を変えて今度は市の東側でも実施していただきたいと思います。

委員

皆様にご協力いただきまして盛況のうちに無事に開催できましたことを感謝いたします。ありがとうございました。大変暑かったので、敷地内で飲み物の販売がなかったことなどがやや残念でした。場所をお借りしたブリヂストンさんの反応はいかがでしたか。

事務局

予想以上の多くの方にご来場いただき、大変驚かれていました。また、タイヤとゴムの博物館であるブリヂストン TODAY の来場者も過去最高を記録したと伺っております。ブリヂストンの社員の方もたくさん来られたとのこと。

委員

市内ではこのようなスペースの確保が困難でもあるので、ブリヂストンさんには場所をご提供いただいて感謝しております。今回のイベントの状況により、ブリヂストンさんにもまた協力いただけるのではないかと期待しております。皆様には、2 回目に向けましてご協力の方よろしく願いいたします。

会長

このイベントは私が提案したという面もありますので、皆様にはご協力いただきまして大変ありがたく思っております。特徴的だったのは、バス会社さんのイベントは各地であります。市が中心となって開催させたこと、地域公共交通会議が主催となったこと、このことは全国的に見ても私の知る範囲では例のない非常に珍しい画期的なことであったと思います。そういう面では、関東運輸局さんにはぜひ全国へ発信していただければありがたいと思います。もうひとつは、バスとタクシーの車両がこれだけ幅広く集まったこと、先ほどタクシーだけのイベントはあまりないというお話がございましたが、地域のタクシー会社さんが6社も集まったことに加えて、実はタクシーのバリエーションも素晴らしかったです。UDタクシー、コミュニティタクシー、電気自動車もありバリエーションも凄かったです。タクシー業界としても画期的なイベントではなかったかと思えます。東京交通新聞がその辺をきちんと書いてくれるのではないかと思います。私は取材を受けてそのように話しました。そういう点でも画期的なイベントにできました。バス会社さんも市内を運行している5社が参加していただいたということでその意義は大変大きかったと思います。親子連れを中心にたくさん来ていただいたのはありがたいことですし、これが公共交通の利用促進の一つのきっかけになると思います。今後に向けての課題もいくつかあるとは思いますが、このイベントを定例にすることにより市民の方が毎年この時期にはこのイベントがあるということで楽しみにされ、さらに、参加される方も増えていくと思います。今後に向けてまたご協力の方よろしく願いいたします。

他に何かございますか。

なければ、本日の議題としてはこれで終了となります。

最後にその他という項目がございますが、何かございますか。

無いようでしたらこれで終了となります。

本日は長時間にわたりありがとうございました。

以上で平成 26 年度第 1 回小平市地域公共交通会議を閉会いたします。

ありがとうございました。